はままつ

図書館だより

12月号
vol.192
令和4年12月23日
浜松市立図書館

特集　自動車文庫（じどうしゃぶんこ）

本をのせてあなたの町へ

特集

自動車文庫（じどうしゃぶんこ） 本をのせてあなたの町へ

自動車文庫のおしごと

自動車文庫は、自動車に図書館資料を積み、図書館から離れた地域に設けた「配本所」に出向いて貸出などを行います。浜松市立図書館には、「ぶっくる」、「よむに～!!」1号・2号、「夢ポッケ号」の4台の自動車文庫があり、遠隔地の学校や幼稚園、団地、ケアセンター等、浜松市内の約120か所の配本所を巡回しています。

天竜図書館「ぶっくる」は走る図書館！

■車内の本棚
「ぶっくる」の車内には本棚がついています。一般書、児童書、絵本などいろいろなジャンルの本がそろっています。まさに走る図書館です。

■出発準備
「ぶっくる」車内の本に加えて、新しい本や話題の本、予約を受付した本、要望のあった本など、図書館職員が配本所にあわせて本を選びます。
選んだ本はコンテナに入れて「ぶっくる」に積み込みます。

ぶっくる
巡回地区：天竜区
問い合わせ：天竜図書館
電話053-926-1245

■配本所に出発
「ぶっくる」に本を載せたら、天竜区内の配本所（幼稚園、学校、福祉施設等）に向かいます。
みなさんに本との出会いをお届けします。

「よむに～!!」と「夢ポッケ号」

浜松市立図書館では、「ぶっくる」のほかに、城北図書館が運行する「よむに～!!」1号・2号と、引佐図書館が運行する「夢ポッケ号」が活躍しています。

よむに～!! 1号・2号
巡回地区：中区・東区・西区・北区（引佐地区を除く）
問い合わせ：城北図書館
電話053-474-1725

夢ポッケ号
巡回地区：北区内引佐地区
問い合わせ：引佐図書館
電話053-542-2118

自動車文庫では、1人12冊まで借りられます。
自動車文庫で借りた本の貸出期間は次回の巡回日までです。
返却は最寄りの図書館でもできます。
自動車文庫の巡回日程については、図書館ホームページをご覧ください。また、配本所についてのお問い合わせは、自動車文庫を管理・運行している各図書館へお願いします。

図書館HP
自動車文庫

本で識る 浜松の歴史

三方ヶ原の戦い

2022年は、徳川家康と武田信玄が激突し、家康が大敗した三方ヶ原の戦いがあった1572年（元亀3年）から450年目の年です。

今までに三方ヶ原の戦いを扱った多くの本が出版されています。その中で64年前に出版された、浜松市出身の高柳光寿氏の「戦国戦記　三方原の戦」がよく知られており、現在に至るまで三方ヶ原の戦い研究の底本として扱われています。

近年、多くの研究者が新説を発表し、従来の三方ヶ原の戦いの見解が変わりつつあります。

その一つが、武田信玄の侵攻ルートです。旧来の説では信濃遠江の境の青崩峠を南下して、遠江へ侵攻したといわれてきました。現在では資料の蓄積や解釈が進み、駿河から大井川を越えて遠江へ東から侵攻したことが有力な説となっています。

また、三方ヶ原の戦いの原因や信玄の西上の目的、三方ヶ原戦役画像の信憑性、徳川方の鶴翼の陣形と武田方の魚鱗の陣形に疑問視する説が出ています。ここでは細かい説明はできませんが、図書館では、三方ヶ原の戦いを扱った図書を多数そろえておりますのでどうぞご覧ください。

参考文献

- 『戦国戦記　三方原の戦』
  高柳光寿／著　春秋社　1958年
- 『金鯱叢書』43
  「徳川家康三方ケ原戦役画像の謎」
  （原史彦著）　竹内誠／編集
  徳川黎明会　2016年
- 『戦国の陣形』
  「川中島・三方ヶ原・関ケ原合戦の虚実」乃至政彦／著　講談社　2016年
- 『徳川家康と武田氏』
  「信玄の遠江侵攻経路」
  本多隆成／著　吉川弘文館　2019年
- 『新説　家康と三方原合戦』
  平山優／著　NHK出版　2022年

図書館からのお知らせ

浜松市立図書館　子ども読書推進講演会

生誕110年・没後80年

愛とかなしみの作家　～新美南吉の生涯と作品～

日時：2023年2月23日（木・祝）14時00分～16時00分
場所：中央図書館2階大会議室
定員：70人(先着順)
対象：中学生以上
申込：Webにて申込み受付中
講師：遠山　光嗣 氏（新美南吉記念館館長・学芸員）

図書館HP
講演会

はままつ図書館だより No.192（2022年12月23日発行）

浜松市立中央図書館
浜松市中区松城町214番地の21
☎ 053−456−0234　FAX 053−453−2324
✉ chuo@city.hamamatsu.shizuoka.jp
ホームページ https://www.lib-city-hamamatsu.jp/

図書館だより
バックナンバー